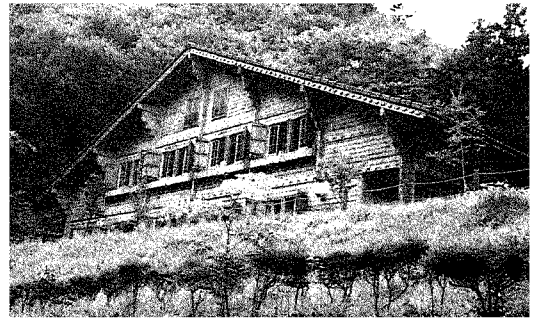


●管理棟 オープン期間（4月～11月）



この施設は、「宝の山ふれあいの里」の中心施設です。施設内は予約受け付けを行う事務室、食堂、会議室があります。ふれあいの里はその昔、宝鉱山として80余年銅、硫化鉄鉱の採掘で栄えました。昭和45年には採掘量が減少し、その歴史に幕を閉じました。その歴史と鉱山地を有効利用しようとオープンしたのが宿泊施設（コテージ）とネイチャーセンターなのです。

主な業務

予約受付
コテージ、グリーンロッジの予約受付業務。
（どんなささいなことでも結構です。まずはお電話を・・・）

食堂

午前十一時から午後二時までの営業時間でうどんを販売しています。メニューは・・・

- ▼かけうどん（250円）
- ▼山菜うどん（350円）
- ▼カレーうどん（400円）

コシコシ麺にしょうゆベースのつゆがマッチしたうどんは、「宝の山」の名物となっています。一度、ご賞味あれ・・・。また、食堂はお弁当などの持ち込みもできます。

炭 新販売

バーベキューなどに利用していただくために炭ニキログラム入り一袋六〇〇円、薪一束三〇〇円と なっています。

炭は、「宝の山」施設内にある炭焼き窯で職員が手作りした炭です。薪と炭は火付きがよく、いい燻（燻）になると評判です。

特産物販売

都留市は織物の町としても有名です。

「宝の山」ではその織物を利用して製作した小物入れ、財布を販売しています。また、バーベキューや魚のつかみ取りなどにはニジマスをご購入ください。池で泳いでいるニジマスの味、山の中で食べるニジマスの味は格別なものとなるでしょう。

4月～5月にかけての山菜シーズンと10月下旬から11月中旬にかけての紅葉シーズン、三ツ峠登山や散策の際にお立ち寄りください。

たくさんの情報がこの管理棟には詰まっています。この情報を引き出すのはあなたです。

●コテージ オープン期間（4月～11月）



コテージには、宝の山に自生している植物、すんでいる野鳥の名前がそのまま付けられています。ウグイス、紫陽花、メジロ、オオルリ、ホオジロ、山吹です。宿泊の際にでも見つけてみてはいかがでしょうか？

御家族、グループ、少人数での利用に最適な山小屋風コテージが六棟あり、四季折々の森の様子を楽しむことができます。

五月にはニセアカシアの花が満開になり、あま〜い香りが宝の山一体にひろがります。このニセアカシアの花のてんぶらは格別な味です。

朝はヤマガラ、ヒガラ、キセキレイ、シジュウカラが鳴き交わし、夜は不気味なトラツグミの鳴き声がコテージ周辺にこだまします。

- コテージ（5人用）↓（1棟貸し）
- 1泊 12、740円 ≡ 4棟
- コテージ（10人用）↓（1棟貸し）
- 1泊 25、480円 ≡ 2棟

（ロフト付）
コテージごとに屋外にカマドが設置してあり、アウトドアクッキングが楽しめます。

夏には花火（夜9時まで）を、秋には星空観察（ベガス）がとてきれいです。
（さがしてみましよう）

◎バス、トイレ、キッチン、冷蔵庫、布団が備えつけられています。